

正・新・大岡



「大岡地区のバス路線復活を期待して」

「大岡地区公共交通推進住民協議会 活動報告」

大岡地区公共交通推進住民協議会 事務局 高橋達也

●これまでの経過

今年度は沼津市の民間まちづくりファンド事業にも選定され、より具体的な検討が行われています。以前のコミュニティ大岡でお伝えした内容からいくつかの進展をご報告いたします。

●11月11日、公共交通の目的地となる大岡地区の大型スーパー・西友沼津店、マックスバリュ片倉パーク店、マム大岡店の店長様方と、私たちが考える新しい公共交通のあり方や協力体制について意見交換を行いました。ポイントは大きく三つ、

①バス利用者に割引等の特典サービスの実施は可能か？

②お店の駐車場を地域循環バスの駐車場として利用は可能か？

③バス運行に際して協賛や広告費の支出は可能か？

というものでした。各社それぞれの意見があり、温度差はありましたが、どちらも地域の商業施設として前向きにとらえて下さっていると感

じました。今後、さらなる検討と協議をお願いしております。

●10月に行われた第7回住民協議会の中で、今後は「空白地有償運送」を私たちの目指す形態として検討することが話し合われました。これは自治会もしくは住民主体の法人を設立し、ボランティア等を主力とした定時定路線の小型バス（ワゴン車）を大岡地区内に走らせるというものでした。

しかしその後、沼津市役所から「沼津市内の某自動車ディーラーから社会貢献も含め地域の公共交通の構築にお手伝いをしたい、という話が来ている」との情報をいただきました。調べてみると大手自動車メーカー系列の部品製造企業が開発した公共交通オペレーションシステムを使った自治会内の本格運行が愛知県豊明市で既に行われており、それを大岡地区でもやらないか？というお誘いでした。そこで取り急ぎ現地への視察が決まり沼津から大岡社協、市役所、

某ディーラーの総勢10名が現地視察を行うこととなりました。

●1月21日(月) 愛知県刈谷市にあるアイシン精機株式会社を訪問。豊明市で本格運行している「チョイソコとよあけ」について視察。言葉での説明は難しいのですが、「停留所から停留所まで走るのはバス、停留所から停留所までの道順は運転手がよい行き方を選ぶのがタクシー、事前に電話で予約してから乗るのがデマンド（要求）、そして乗るのは高齢者や障害者とした地域の福祉バ

ス（もしくはタクシー？）」という仕組み。全く新しいカタチの公共交通でして、これが地域で大変支持されているとのことでした。

特に注目したのは、高齢者が家に籠らず積極的に外で活動出来る環境づくりも並行して実施する姿でした。私たちの協議会にとっては降って湧いた「いい話」なのですが、実際にはお金もかかるわけでして、これからの検討はもう少し続きそうです。皆様のご意見をお待ちしております。



アイシン精機(株) 正面入口前で
協議会メンバーと市役所まちづくり政策課、ダイハツ沼津の皆さん

寿サロン・新春教室

令和2年1月8日(水)

講師・沼津市まちの識者、坪内陽子先生を招いて歌と音楽にのって楽しみながら頭や体を刺激して元気になる体操を行いました

歌いながら身体を動かす事は、高齢者にとって良い刺激になります。また、歌は懐かしい思い出とむすびついていることが多く、歌詞やメロディが脳を刺激し、その歌の時代や物の名前など、歳を重ねること忘れがちな事を思い出すきっかけになるそうです。

歌に合わせて手や指を動かすと、大脳が刺激されて記憶力が高まり、認知症予防につながり、歌を歌うことで昔の思い出がよみがえるだけでなく、過去にその歌を歌った時の状況や感情も呼び戻されるそうです。外はあいにくの天気でしたが今年から、新しい会員も迎え元気いっぱい体操を行い、その後、美味しい食事を頂き解散しました。



下石田いきいきサロン



令和2年2月16日(日) 下石田公会堂
今年度最後のいきいきサロンは「無理のない健康ストレッチ講座」を開催しました。

講師は横山喜久枝先生。イスに座る長良のストレッチと呼吸法を、講師の楽しい話を聞きながら、ゆっくりと全身運動ができました。運動後は体が温かく体のコリがほぐれて軽くなりました。

あいにくの天気でしたが33名の方々に参加頂きありがとうございました。

ソフトバレーボール

2月11日 大岡小学校体育館

参加選手 97名

渡辺会長には開会式での挨拶と始球式をしていただきました

上田副会長には最後の最後までいってもらいました

怪我もなく無事終了しました。

主な成績は次の通りお互いの健闘を気持ちよく讃え合いました。

Aコート 一位 アローズ
Bコート 一位 ノーパッシングA
Cコート 一位 上石田エルサ

(体育部部长 高橋 淳)



ねりんピック・紀の国わかやま2019



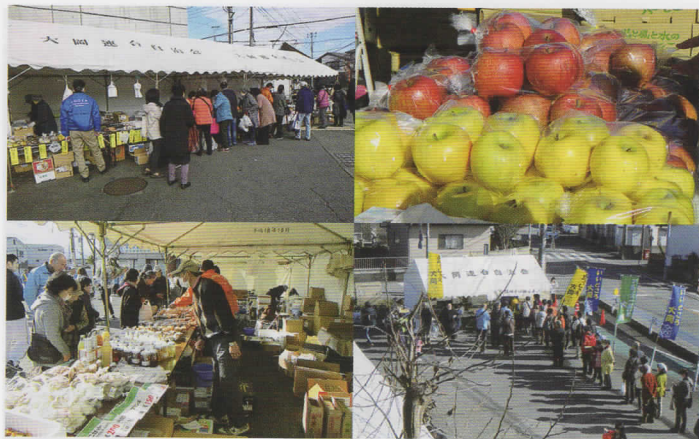
全国の高齢者がスポーツや文化活動を通じて交流する「第32回全国健康福祉祭 和歌山大会」が昨年11月9日に行われました。主に60歳以上の人を対象にした健康と福祉の祭典で27種目を開催、観客を含めて約40万人の参加を予定して開かれました。「ねりんピック紀の国わかやま2019」で、大岡木瀬川・谷岸正夫さん(64歳)が令和2年1月20日、頼重秀一市長を訪ね成績を報告しました。谷岸さんは、県代表として「ボウリング2人チーム戦」に出場。全国からの63チームが2日間にわたり、1人が6ゲームを行い、2人の合計点で争った。谷岸さんと組んだのは富士市の女性で競技の結果、2人合わせて2352点のスコアを出し準優勝となりました。

第37回大岡連合自治会 文化祭

2月1日(土)～2月2日(日) 大岡地区センター他

長野市大岡地区住民自治協議会
地産品展示販売・信州そば試食

毎年恒例の長野物産展、人気のリングは完売、信州そばの試食には長蛇の列、持参した地産品もほぼ品切れ。交流の中で定着したイベントになった。



大岡地区センターを中心に、大岡コミュニティ推進委員会主催の第37回文化祭が行われ、JAなんすん大岡、大小体育館、グラウンドと多彩な催しで賑わった。

今回の文化祭は、天候にも恵まれ、2日間合計で1231名の方が来場、地区センター展示作品は約1032点にのぼり年々数を増している。





J Aなんすん大岡朝市は毎週朝8時から行われている。



南駿大岡支店朝市



大岡中学生が昨年お世話になった民泊先のお母さん達と久しぶりの再会



2月2日(日)、大岡小学校グラウンドにて午前中、交通安全・消防防災展が開かれ、多くの家族連れで賑わった。子ども達と一緒に防煙体験、水消火器体験。

消防車・パトロールカー・白バイ等楽しみながら試乗。

交通安全・防災を兼ねたスタンプラリーなどを行い、交通安全、防災の意識高揚を図った。



交通安全・消防防災展



中高生が参加し地域を盛上げた

文化祭特別イベントは大岡小学校体育館で、三校が時間間隔を空けて出演。延べ観客総数348名が会場を埋めました。

加藤学園高 応援団

「押忍！」

加藤学園高校応援団で

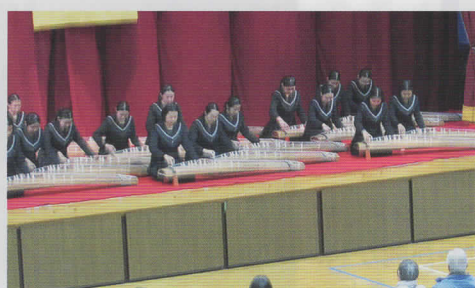
威勢の良い一声からキビキビと整然とした動作で始まり、地元「大岡」を連呼しての声援でした。地域に元気と気合を注入していただき有難うございました。

今年は奇しくも加藤学園高校は選抜高校野球大会に県代表として出場決まっていたが、大会が中止となり残念です。夏の大会での活躍を期待しています。



三島北高 箏曲部

令和2年度全国高等学校総合文化祭高知大会に出場する2年生23人による華麗な箏の演奏が披露されました。日本古来の和楽器のひとつ箏を使い演奏を奏で、オーケストラのような指揮者がいるわけでもなく、ただその場の空気と相手の呼吸を読み合奏をするそうです。



大岡中学吹奏楽部



大岡中学吹奏楽部は、アンサンブルコンテストで演奏した曲と合奏を披露しました。

①クラリネット五重奏

②混成八重奏

③フルート四重奏

④金管八重奏

⑤サックス五重奏合奏

ブラズバンド演奏は全員が楽器を持って舞台上に登場すると、楽器が触れ合うほどの状態でした。そんな中でも熱の籠った演奏を見事に披露し、最後にアンコール「U. S. A.」でこたえてくれました。



二分の一人式 南小

2月27日(金)

大岡南小学校の10才になる4年生が二分の一人式を行いました。

第一部では各クラス教室でドリムツリーの名の元に将来の夢の発表が行われました。

第二部では体育館に移動をし、呼び掛けや歌と楽器の演奏が行われました。

また式の最後には、10才まで育ててくれた両親に感謝の手紙の朗読が行われ、大変感動的な二分の一人式となりました。



大岡地区『どんと焼き』



大岡小学校グラウンド



大岡南小学校グラウンド

令和2年1月12日(日) 大岡小学校は午前7時30分から、大岡南小学校は午前8時30分から両校グラウンドで恒例の「どんと焼き」が行なわれました。

小正月に行われる行事で、しめ縄や松飾、書初めなどを燃やして無病息災・五穀豊穡を祈願します。日本各地でおこなわれ、田んぼや畑などで長い竹を組み、燃やしその火で餅など焼いてその日のうちに食べる風習があります。

近年場所を確保することが難しくなり子供会が中心になって学校を使って行われています。

「DAIMANわくわくセミナー」
「コサージュ作り」

1月7日地区センターにて大岡南小第4回「DAIMANわくわくセミナー」コサージュ作りが行われた。室内に入ると色とりどりのお花がテーブルに用意されていて見ているだけで楽しくなった。参加者はその中から好きな色と形のお花を選び配置を考えコサージュを作り始めた。同席になった人と相談し悩みながら出来上がったコサージュは色鮮やかな物から、シンプルで大人っぽい物まで個性あふれる世界で1つだけのオリジナルコサージュとなった。

これから卒業式や入学式を控える母たちには洋服のワンポイントとなり重宝しそうだ。



認知症サポーター養成講座

令和2年2月4日、大岡中体育館で認知症サポーター養成講座が開かれた。平均寿命80歳を超えている現在、4人に1人が認知症になると言われている中、総合授業の一環として1年生約160名が、きせがわ包括・地区社協・キャラバンメイトなど関係者から認知症の人への接し方を学んだ。認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識を持ち、地域で認知症の人や、家族に対して可能な範囲で手助け出来る人のこと。体験学習の寸劇は、兄が入院したと思い込んで徘徊する高齢者を想定して行われた。生徒達は、相手をびつくりさせない、相手の自尊心を傷つけないなど、教わったことをグループごとに話し合い結果を発表した。全員に、認知症サポーター養成講座受講証の「オレンジリング」が授与された。

大岡中の1年生は、既に車椅子介助の体験学習も行っている。



華道・草月流 長澤玉映先生

長澤玉映先生は地区センターに毎月、生け花を続け、地区センターを訪れる方々の心を癒してくださいました。

本誌の表紙に作品を使わせていただきました。大岡文化祭で1階和室の書道展示の前に豪華な人目を引く花を活けてくださった作品です。『春の訪れ』花材は、白樺・小判草（塗り）・ストック・枯れ麦 素材の持つ表情から、寒さの中にじっと身を潜め、やがて来る温かく彩り豊かな春を思い起こす様を表現したそうです。



「草月流」の生け花は「型」にとらわれることなく、常に新しく、自由とその人の個性を映し出します。いつでも、どこでも、だれでも、そしてどのような素材をつかってでもいけられるのが草月流だそうです。いけ手の自由な思いを花にたくして、自分らしく、のびやかに花をいけていきます。

防災コーナー

防災食



消防防災部 森岡

令和2年2月2日(日)に行われた大岡文化祭消防防災展でご試食いただいた、防災食の缶入りソフトパンについて、大勢の方から購入先の問い合わせがありましたのでお知らせいたします。

■新食缶ベーカリー 缶入りソフトパン(5年保存)
アソート(コーヒー、黒糖、オレンジ 各8缶)
24缶入り 9,984円

■新食缶ベーカリー 缶入りソフトパン(3年保存)
アソート(イチゴ ミルク チョコレート キャラメル)
4種×6缶入り 9,984円

その他詳細は
株式会社東海消防機材商会
055-963-1038 までお問い合わせください。

広報活動振り返り(広報部)

広報部長

杉山龍太郎

部員の助力の上に、年6回コミ大岡広報誌の発行と、150回を超える壁新聞で、自治会活動を伝える、広報の役割を果せ、感謝。

副会長

渡邊久芳

より地域密着型の広報誌を目指すため、部員だけではなく、多方面の情報、意見を待っています。

地区社協

高野一雄

より良い広報誌を目指し、大岡在住の読者の方々からの多くのご意見、ご感想を頂き感謝です。

地区社協

石村ちよ

地域の皆様との触れ合い等、素敵な表紙と共に、心に残る体験となりました。

大岡中学校PTA

磯貝範江

広報誌の編集、地区行事の取材を通して、地域の様子を知る機会ができ、周囲のご助力に感謝です。

大岡南小学校PTA

岩澤真理子

地域のお祭りやイベントなど、知っているようで知らない事が多く、色々な方にお話を聞くことができとても勉強になりました。

大岡小学校PTA

内田文子

記事の書き方など、伝える事の難しさを感じましたが、学校行事での児童や父母の様子が伝えられていたら幸いです。とてもいい経験が出来ました。

大岡団地

後藤鐵夫

広報誌の作り方で取材の大切な事が分かりました。大岡には行事催しが多く今後も参加したいです。

木瀬川

浅浦慎也

色々な方に助けていただきながらやる事が出来ました。

下石田

菅原陽子

写真の撮り方や記事の書き方に最後まで悩み未熟さを感じました。またタイムリーに出来ず発信が少なくなりましたが皆さんに助けてもらいました。

中石田

大西修平

私事で、時間がとれずに行事に参加出来にくかったが、散歩中に撮影した大岡の秋の風景が表紙を飾り、良い思い出となりました。

上石田

小原秀樹

大岡地区広報部の活動に付きまして、年間を通して学ばせて頂きました。

沼平町

土屋純一

記事を書いて人に伝える事の難しさを感じたが、自分の書いた記事や写真が掲載され良かったです。

高田

久保田豊

広報活動を通じて、大岡の行事について、色々知る事が出来ました。この経験を来年にも是非かしたいと思います。

中石田

杉山いずみ

大岡の皆さまに、より良い形で多くの情報発信が出来るように頑張ります。



連合自治会

発行 行/大岡コミュニティ推進委員会 編集/広報部

発行責任者/渡邊修司

問合せ/大岡地区センター・事務局 沼津市大岡2357-1 TEL 055-924-0299

発行部数/8,300部

大好き大岡 URL <http://www.e-ohoka.com/>